

30. つしま子ども食堂

記録：水野桃弓

場 所：しげんカフェ（津島市唐臼町代官田 91）
参加費：子どもは無料 大人は 300 円（指定はない。多く出してくれる方も）
対 象：誰でも OK
代 表：谷口 雅子さん
初 回：プレオープンで 2016 年 3 月より開催していて月一回（曜日指定は特になし）
をめぐりに開催しているができなかった月もあった。

参加日時：2017 年 2 月 12 日（日）17：00～20：00
参加人数：子ども 20 名ほど、大人 20 名ほど、スタッフ 10 名
献 立：おでん（大根、玉子、餅巾着、こんにゃく、はんぺん、つみれ、ちくわなど）、白菜漬け、五目御飯、リッツ
参 加 者：水野桃弓

◎きっかけ

谷口さんは学童に関係していることから居場所づくりには興味があった。また、自分の子どもの友人を招くこともあり、それが何度も続いたときその子どもの友人は親から虐待をうけていたため自分の家に住み込んでいたことが発覚したこともある。そういった経験も含め、地域のために地域の人で何かしたいと思っていた時にネットで見つけた。親という立場で、家事や仕事の両立といった毎日の息抜きにもなれたらと考えている。

◎食堂の仕組み

食堂を立ち上げる時運営スタッフの収集は、Facebook で谷口さんが「子ども食堂したい」とつぶやいたところ様々なつながりによって集まったという。子ども食堂開催の前にスタッフミーティングを行い、子ども食堂の流れを話し合っている。お皿やコップなどは持ち込みで、その調達もスタッフの方の親戚のはなれの家で沢山余っていて貸し出している。子ども食堂を始める前に他の食堂の見学には行っていないとのことだったが、長久手の文化の家で開催された「子ども食堂フォーラム」に参加した。

◎資金

お金の寄付はないが参加する大人から頂くお金で食材などはまかなえている。
（余るほど）

◎食材、メニュー

メニューはスタッフミーティングにより決めていた。メニューを決めてから食材の調達をする。寄付によりメニューを決めることもあるがメニュー決めが先のことが多く、寄付だけでは足りない食材は頂いた資金で補っているということである。

◎宣伝

宣伝方法は Facebook で主に食材寄付などを呼びかけ、チラシを役所などの公共の場においてもらっている。また、開催後にはつしま子ども食堂通信なども発行している。

◎場所

場所は普段カフェを経営していて開催する日は無料で貸し出しをしてくれる。また、そのカフェがもともと子どもに優しいカフェであるため、子どもの遊ぶスペースや絵本、紙芝居などがある。今後は違う会場も検討していて、使える会場が増えれば、月一回ではなく月に数回できていけたらと考えている。

◎スタッフ

開催する日によって来られる方は限られてくる。しかしスタッフ同士仲がよさそうだった。また学生さんから年配の人まで年齢層は決まっていなかった。調理担当はだいたい決まっている。学生のスタッフが紙芝居を上手に読んでいた。スタッフの収集については初め、谷口さんの Facebook でのおつぶやきからだったことからのつながりであり、もともと知り合いではなかった人たちも多くいるということである。毎回バルーンアートをして子供たちを楽しませてくれる方の参加や2月12日の子ども食堂では防災津島の会から防災についてのちょっとしたお話を聞くこともできた。非常食の寄付もあった。

◎参加者

家族での参加が多く、スタッフとも知り合いの方が多く来られた。子どもたちは終わった後、遊び場でその日に初めて会った子とでも仲良くなり元気に遊んでいた。かなりにぎわっていてお母さんやお父さんは子どもを見ながら、親同士の会話を楽しんでいた。大人のみの参加も可。

◎課題、悩み

本当に必要な人に届いていないのではないかと。貧困対策が一番の目的ではないが、少しでも家庭の負担を減らすことや居場所つくりになれているのかどうかということ。

◎感想

とっても雰囲気良かったことが印象的だった。かなりにぎやかでボランティアさんの知り合いの方が参加したり、参加者同士で会話が生まれたりしていた。誰にでも温かく接しているスタッフの対応が特によく感じた。また特に大きな決まりはなさそうだが、みんなが子ども食堂に対する気持ちは強く感じられた。

◎写真

